

柳島スポーツ公園総合競技場 会場使用上の注意

1 開門時刻、入場時の注意点、場所取りについて

- (1) 競技場開門予定時刻は7:00です。
- (2) 控え場所については、中学校は決められた芝生スペースを使用してください。高校と一般の選手と小学生はスタンドを利用してください。
- (3) 必要以上に広い場所を取らず、全ての参加者がテント・シート等を設置できるよう、譲り合いの気持ちを持ち、詰めて取ってください。

2トラックでのウォーミングアップ・練習について

- (1) 競技場内の準備ができるまでトラックの使用はできません。練習開始はアナウンスで指示します。
- (2) 大会出場選手以外の選手・生徒の練習はできません。
- (3) 競技場内での練習は審判員の指示に従い、事故やケガのないよう十分に注意してください。
- (4) メディシンボールを使用する練習はできません。
- (5) 競技場の利用に関する詳細は以下を確認してください。

①競技開始時刻15分前まで

ア 周回レーン (バック・ホーム問わず)

1～2レーン 長距離など周回を使う練習

イ ホームストレート側

3～5レーン 短距離 (リレー練習は行わない) コーナーから直線を使う練習

7レーン 女子ハードル練習 (5台)

8レーン 男子ハードル練習 (5台)

ウ バックストレート

3～6レーン 短距離・リレー練習、コーナーから直線を使う練習

7～8レーン スタート練習、直線を使う練習

エ フィールド内人工芝でストレッチやドリル等で使用することができます。ミニハードルやラダー等の器具は置かないようにしてください。競技開始15分前まで使用することができます。

②競技開始時刻以降のウォーミングアップについて

第1曲走路外側のスペースでアップができるよう、黄色いハードルとコーンを目印として置きます。周回エリアと流しエリアに分かれていますので表示を確認し、ルールを守って使用してください。

3 競技場外(スポーツ公園内周回コース)でのウォーミングアップについて

競技場の外でウォーミングアップをすることができます。ただし、次のことに注意してください。

- (1) 公園内青いランニングコース(約600m、約800m)よりも内側を周回してください。
- (2) スタンド裏に広いスペース(柳島ストリート)があります。周囲の状況を見て、安全が確認できるならば、流し等のスピード練習を行っても構いません。
- (3) 青いランニングコースは、大会以外の一般利用者専用です。走ることはできません。
- (4) 青いランニングコース以外にも、親子連れ等の一般利用者がいますので、事故のないように一般利用者を優先してください。
- (5) 公園内の芝生(コミュニティ広場・多目的広場)では、練習を行わないでください。ミーティングや集団での体操・ストレッチ等も行うことができません。
- (6) 公園内はほかにもテニスコートや、芝生で遊ぶ一般利用者、応援に来た保護者等が大勢来園することが考えられます。状況によっては大会本部から指示がありますので、それに従ってください。

4 その他の注意事項

- (1) 準備が終わったら、用器具庫はシャッターを閉めます。中に入ったり、荷物を置いたりすることはできません。
- (2) 競技場とスタンドを隔てる柵は、乗り越えたり、座ったりしないようにしてください。
- (3) グランド内外は、黄色いハードルで仕切っております。選手以外は競技場内に入らないようにしましょう。特に、大会本部前は通行禁止です。
- (4) 招集場所は、100mスタート側トイレの向かいにある倉庫です。
- (5) 応援は各校テント・シートから行ってください。スタンドは保護者・学校関係者応援席になります。
(本部の指示にしたがい、スタンドを学校待機場所として使用する場合があります)
- (6) 雷の心配が生じたときは、スタンド・スタンド下・用器具庫・クラブハウス等に避難します。アナウンス等の指示に従ってください。
- (7) 柳島スポーツ公園は駐車場が少なく、すぐにいっぱいになってしまいます。近くにコインパーキングもないので、保護者その他応援の方々は、公共交通機関を利用してお越しください。道の駅への駐車もご遠慮ください。

競技注意事項

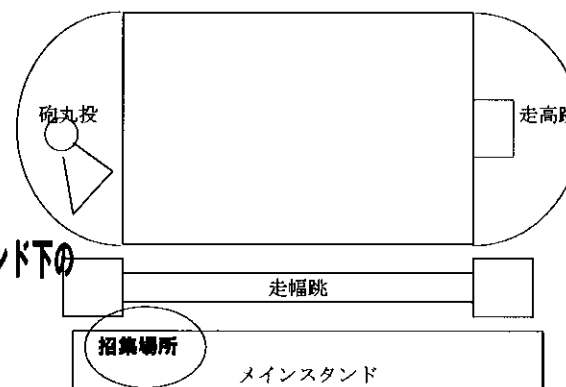
1. 開催日 令和8年5月10日(日) 荒天5月17日(日) 7時00分開門
2. 会場 柳島スポーツ公園総合競技場
3. 規則 2026年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。ただし、中学1年生種目はオープン競技とする。
4. 変更・訂正 プログラムの誤記訂正は最初の競技開始30分前までに本部記録係に申し出る。
5. 練習 ①「会場使用上の注意・お願い」に従い、総合競技場内第一曲走路外側周辺を使用する。
②公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、同一の高さで2回までの練習を認める。ただし、高さは現地にて決定する。
走幅跳、砲丸投、棒高跳の公式練習は、審判の指示に従って行うこと。
6. 競技用靴 2026年度日本陸上競技連盟規則 TR5.2 及び(国内)競技用靴に関する主要規則を適用する。ただし、砲丸投については適用除外とする。
7. 招集 ①競技順序記載の招集時間に、招集所で本人がコール用紙に自分で○をつける。このとき、アスリートビブスとスパイクの確認(ビブの長さは、走高跳12mm以下、それ以外は9mm以下とする)を行い、腰ナンバー標識を受け取る。
*招集所には本人のみで行く。付き添いの同行は認めない。
②招集終了後、競技順序記載の集合時刻に、各種目の集合場所で最終確認を受ける。
③招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
8. リレー ①オーダー用紙提出は、競技順序に記載されている提出時間に招集所へ提出する。
②競技者は、1～4走者のそれぞれ指定された場所へ集合時刻までに集合する。
③リレーのナンバーカードは、個人番号とする。
9. アスリートビブス ①主催者で用意する。ただし、中学生の部に出場する選手は指定された番号を各校で用意する。
②胸と背に確実にとめる。ただし跳躍種目は、背または胸につけるだけでよい。
③トラック種目では、主催者が用意した腰ナンバー標識を使用する。選手(リレーは4走のみ)は招集所で受け取り、右腰に付けておく。競技後に回収する。
10. 計測 ①電気計時の場合は、全ての競技者のタイムを計測する。
1) トラック ②中長距離種目においても制限タイムは設けず、最後まで競技を行う。
③何らかのトラブルで手動計時になった場合、100m・200m・リレーは予選は4着まで、決勝はすべての競技者のタイムを計測する。
2) ハードル ・ハードルのインターバル高さ等は次の通りとする。

	第1ハードルまで	インターバル	高さ	台数	
一般男子は、	110mH	(13.72m)	・ 9.14m	・ 106.7 cm	・ 10 台)
一般女子は、	100mH	(13.00m)	・ 8.50m	・ 83.8 cm	・ 10 台)
中学男子は、	110mH	(13.72m)	・ 9.14m	・ 91.4 cm	・ 10 台)
中学女子は、	100mH	(13.00m)	・ 8.00m	・ 76.2 cm	・ 10 台)

3) フィールド ①計測ライン・バーの上げ方

- 走幅跳 砲丸投 なし
- 走高跳 棒高跳 現地で決定する。
- ②走幅跳・砲丸投は3回の試技でTop8を選出し、その後3回の試技を行う。

11. スタート 中学男子3000mは、2段スタートで行う。中学男女共通800mは、1レーンに最大2名入るセパレート方式で行う。なお、1年生800mに関しては参加人数によって2段スタートもしくはセパレート方式で行う。
12. 開・閉会式 開閉会式は行わない。
13. その他 ①スタートの合図・不正スタートについて
・スタートの合図は、イングリッシュコマンドでおこない、1回目の不正スタートで失格とする。
・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。本大会は種目ごとの累計とし、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格(レッドカード)とする。ただし、競技会からは除外しない。
②競技場の使用のしかた
・選手控え場所として、高校生・一般・小学生はメインスタンドを、中学生は競技場内のバックストレートおよび第2曲走路外側の芝生部分を使用する。
③ゴミは各自で持ち帰ること。



※招集場所はメインスタンド下の北側倉庫内に設置する。